

カゴノキ

[木本] 《忌避》



引用:1(3枚とも)



裏面は粉白色。



樹皮は鹿の子模様。

区別のポイント

樹皮は点々と円い薄片となつてはがれ落ち、その跡が鹿の子模様となる。

形態 常緑高木。暖地に生える。

分布 本州（千葉県以西）・四国・九州・沖縄

名前の由来 樹皮のはげ落ちた跡が鹿の子模様と似ることから。

葉 〈全体〉長楕円形から倒卵状披針形、長さ5～9 cm。表面は緑色、裏面は粉白色。

〈付き方〉互生。

〈葉柄〉長さ8～15 mm。

〈基部〉広いくさび形。

〈葉先〉鋭尖頭で鈍端。

〈縁〉全縁。

備考

出典 1, 4, ※